

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟県新潟市秋葉区小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

地域の文化活動に貢献

～新津地区の団体紹介～

昨年の四月に政令市新潟が発足し、小須戸地区と新津地区が一体となった「秋葉区」が誕生しました。そんな中、公民館活動においても今までにあまり交流が無かった新津地区の様々な文化団体と関わりを持つ機会が自然と多くなってきました。今回は今年度の小須戸地区市民展等を通じてより交流を深めつつある新津地区で活発に活動している文化団体2グループの代表の方に、いろいろとお話をお伺いしました。

新津美術協会

取材協力 会長 石井 博氏

①組織について
「趣味だけでなく、専門的な勉強をやりたい」ということが趣旨で発起人十五名が呼びかけて昭和五十三年に設立。当時の会員は7部門(日本画・洋画・版画・彫刻・工芸・書道・写真)で、百六十人からスタートしました。現在(平成十九年度)の会員数は二百四十名が所属。「会員数はわりと安定している。(その理由)新津は幾分団地などができたりして人口が増えています。また、各グループとも会員が増えるように自主努力もしています。今年(平成二十年)で協会が出来てから創立三十年を迎え、その記念展の開催も予定しています。」



盛況だった第1回秋葉区展

②主な活動の紹介

「いもほり」
田辺 侑里さん(新保)
小須戸幼稚園・4歳児



いもほりをして、いっぱいいもができて、うれしかったです。

関連記事は裏面に掲載

③小須戸地区とのつながりに
石井会長「協会の総会で急がずに、とにかく一緒にやろう。という提案がありました。ただし、私共は美術協会です。小須戸地区は文化協会なので性質や目的が違うため、今後にも前向きに話し合いを行っていきどういふふうにするか検討の余地があります。急には、いかならないと思います。が、明らかに希望はもてる。新津美術協会は思っています。」

④今後の課題について
・若い方の加入が少くない。
・もう少し作品発表の場所が欲しい。
⑤今後の目標
・「自分の研修」と「地域の発展のために協力と貢献をしていきたい」

⑥今後の課題
「基本的な考えは秋葉区という一つの同じ地域ですから、まず私達の活動を知ってもらったり、また我々が小須戸地区の将棋愛好会の状況を掴んだりお互いのことを知り合うことが第一と思いました。今後は各種将棋大会や交流試合の開催や新津支部で毎年プロ棋士を招待している情報などを提供して、お互いの交流を図りたいです。更に大会終了後に懇親会を行えば打ちとけるのも早く友人になつてしまうものです。」

「子供の普及活動について」
現在、専門の指導員二名を中心に指導しています。子供教室は今から四年前に文化庁

「蒼丘展」
(新津南高校の生徒作品)
津野貴志さん(イラスト)
自分の作品がみなさんに興味を抱かせることができうれしく思います。これから勉強に励み、よりよい作品を描けるよう頑張りたいと思います。

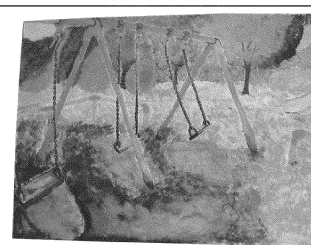
「ありがとう」
昨年春から、社会福祉法人「ほほえみ事業所」の手伝いに行っています。助け合いながら懸命に働くみんなの仲間に入って仕事をしていると不思議と心がなごみます。なぜと考えると、ここで「トゲトゲしい」言葉と他人の悪口は一度も聞くことが無く、一番多いのは感謝の「ありがとう」だからだと思います。



石けんの袋入れ作業

「わたくしの住むまち」
絵のコンクール入選者紹介
松ヶ丘 垣見 壮一さん

指導する人の「頑張ったね」という励ましや、地域の人や送迎家族の言葉にも思いやりを感じます。やさしい言葉が暖かい雰囲気を作りだしているのです。いま自己主張のみの傲慢な言葉を言ったり満足な挨拶も出来ない人も増えているという。日常生活の中に感謝の気持ちを忘れていた私に「ありがとう」という言葉の重さを知らせてくれました。



「みんなの遊び場」
五十嵐 蘭さん(小須戸)小須戸中学校2年
私が幼い頃から皆で楽しく遊んだ公園を描きました。

日本将棋連盟・秋葉支部(昭和28年設立)

取材協力 幹事長 堤 正幸氏

「去年の三月に支部の総会があつてその時に掲げた2つの目標がありました」
一つ目は、「小須戸地区の将棋同好会と交流を活発にしていきたいこと」
二つめは、「子どもを中心とした将棋愛好者の裾野を広げていきたいこと」です。

「今後の課題」
二十代と三十代の会員が少ないことです。(新津支部の会員は総勢二十四名で大半が六十代以上)そのため、この先十年後の後継者が見当たらないので悩んでいます。

「その他の取り組み」
去年、レディース将棋愛好会(会員六名)を立ち上げた。去年から各小学校の部活の時間に支部会員が出張して、礼儀を第一に指導をしている。

「ポランティアの喜び」
昨年、新潟市の小学四年生が日本一の小学生名人になりました。以前、わたしが何回か指導対局をしたこともあったので、日本一になった時は嬉しかったですね。将来も、そのような子供が新津子供教室から出てくれることを希望します。それが、活動の原動力です」と、堤さんは、満面の笑みを浮かべながら話しました。

インターネットで

《化学映画》見れます

小林米作は新潟市小須戸の生まれ

NPO法人化学映像館理事長 久米川 正 好

報道カメラマンとして、銃弾を恐れず、戦争の悲惨さを撮りつづけた小林さん。戦後、ドキュメンタル映画の制作の世界に。特に生命科学の撮影を。その第1作が、結核菌と食細胞の決闘の様子を特殊な撮影方法を駆使して撮影した「ミクロの世界」(1958年)。次いで1963年には「生命誕生」受精卵の杯盤から鶏までの成長記録を顕微鏡下で捉えた不朽の名作を制作。これらの映画は国内外の科学映画祭で数々のグランプリを受賞。一躍世界の小林へと学術的にも高く評価され、日本が世界に誇れる映像遺産であり、しかも現在でも通用する名作である。当時、ノーベル物理学賞受賞の湯川秀樹氏、

これらの科学映画をフィルムから高画質でデジタル化。インターネットで現在113作品を配信。だれでも、どこでも、いつでも、そして何時何時でも(未来遺産として)観られるようにとNPO法人科学映像館を創設した。これらの映画に共感、第2の小林さんの誕生を祈念したい。(当地に古い映画をお持ちの方がおられれば、素材如何にかかわらずお知らせ願いたい。こちらで精査の上、再生配信したいと考えている。)

注1) 小林米作(こばやし・よねさく)
明治38年(1905)7月小須戸に生まれ、小学校4年生のときまで小須戸で学んだ。

注2) インターネットでの化学映画の見方について
①Yahoo!などの検索サイト → ②科学映像館 で検索 → ③1番目に表示されたものをクリック → ④科学映像館トップページが開きます。 → ⑤配信映画 をクリック →

⑥左横にある「制作会社別」をクリックすると現在配信中の作品一覧が表示されます。「ジャンル別」をクリックすると各作品がジャンル別けされて表示されます。 → ⑦一覧表が表示されたら、作品名をクリックし、説明ページのスタートをクリックすると作品がご覧いただけます。

聴くこすど地区の音楽イベント情報

第一弾 小須戸吹奏楽団「第四回演奏会」

小須戸吹奏楽団の演奏会も四回目を迎えます。皆さんお誘い合せの上、どうぞ、ご来場下さい。

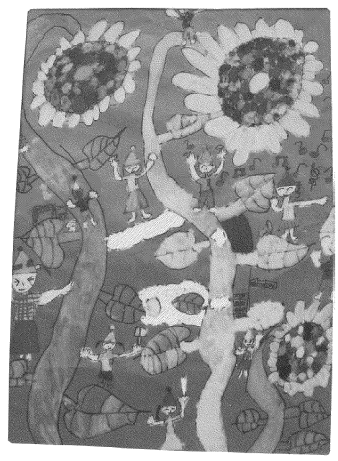
第二弾 早春ふれあいコンサート

クラシックを気軽にどうぞ。ドラマ「のためかンタービレ」で流れていた曲を演奏します。

第三弾 スプリングナイトジャズコンサート

ピアノ、ベース、ボーカル、ドラムの六人編成で行う予定。詳細は次号の公民館報に掲載します。

「県ジュニア展」入選おめでとう(1) ~感性キラリ、個性豊かに~



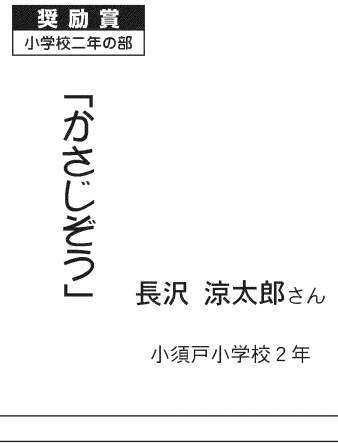
「ひまわり学校の 小人たち」 齋藤 みのりさん (舟戸) 矢代田小学校1年



「かきこぎん」 中野 佐香さん (小須戸) 小須戸小学校2年



「弱肉強食・ティランノワルド」 森田 遊成さん (小須戸) 小須戸小学校5年



「かきこぎん」 長沢 涼太郎さん 小須戸小学校2年

秋葉スポーツチャンバラ協会 & プチサークル会員募集!!

子育てサロンを開催します! お茶にきてね!

工芸部門でW入選 「押枝花入」 「押枝花器」

平成十九年度「にいがた市民文学」 「川柳部門」 佳作作品の紹介

シリーズ 「今、子どもたちは」(137) 福祉施設利用者たちとの交流

文芸欄 川柳 (題: 明暗) 俳句 短歌

催し物ご案内 小須戸地区公民館木版画教室 第2回作品展